【逆行列とは】

n次正方行列Aに対して

$$AB = BA = E_n$$

が成り立つとき、n次正方行列BをAの逆行列といい、 A^{-1} で表す。ここに、 E_n はn次の単位行列とする。

【例】

(1) 2次の正方行列について

$$\begin{pmatrix} 2 & I \\ 5 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 & -I \\ -5 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & I \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} 3 & -I \\ -5 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 2 & I \\ 5 & 3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & I \end{pmatrix}$$

だから

$$\begin{pmatrix} 3 & -I \\ -5 & 2 \end{pmatrix}$$
は $\begin{pmatrix} 2 & I \\ 5 & 3 \end{pmatrix}$ の逆行列

また,
$$\begin{pmatrix} 2 & I \\ 5 & 3 \end{pmatrix}$$
は $\begin{pmatrix} 3 & -I \\ -5 & 2 \end{pmatrix}$ の逆行列

(2) 3次の正方行列について

$$\begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \\ -1 & 4 & -2 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$
$$\begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \\ -1 & 4 & -2 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

だから

$$\begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \\ -1 & 4 & -2 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix}$$
は $\begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 1 \end{pmatrix}$ の逆行列 $\begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \end{pmatrix}$

また、
$$\begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 1 \end{pmatrix}$$
は $\begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \\ -1 & 4 & -2 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix}$ の逆行列

%n次正方行列Aの逆行列 A^{-1} が存在するとき

$$AA^{-1}=A^{-1}A=E_n$$

が成り立つ.

※正方行列でないものについては逆行列は考えない.

【逆行列の求め方】

〇2次の正方行列について,高校では(教育課程により,また 科目選択により,習わないことがある)次のように覚える.

(P) $|A|=ad-bc\neq 0$ のとき, 逆行列が存在し

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$$
の逆行列は $\frac{1}{ad-bc}\begin{pmatrix} d & -b \\ -c & a \end{pmatrix}$

 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ の対角成分は入れ替えて、対角でない

成分は符号だけ変えたもの $\begin{pmatrix} d & -b \\ -c & a \end{pmatrix}$ を考える

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} d & -b \\ -c & a \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ad -bc & 0 \\ 0 & ad -bc \end{pmatrix}$$

となるから、全体を ad-bc で割ると単位行列に なる

(イ) |A|=ad-bc=0 のときは、逆行列は存在しない。

○3次以上の正方行列については,

$$A = \begin{pmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{pmatrix}$$
 の逆行列を求めるには、その右側に単位行

〇この頁に登場する【問題】は、公益社団法人日本技術士会のホームページに掲載されている「技術士第一次試験過去問題 共通科目A 数学」の引用です。(=公表された著作物の引用)

○【解説】は個人の試案ですが、Web教材化にあたって「問題の転記ミス」「考え方の間違い」「プログラムの作動ミス」などが含まれる場合があ 以得ます。

「問題や解説についての質問等は、原著作者を煩わせることなく、当 Web教材の作成者(〈浅尾〉mwm48961@uniteddigital.com)に対して行っ てください。

(逆行列の求め方)

【例】 (1)

(高校数学で習う方法で) $A = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$ の逆行列を求めるには、

まず対角成分は入れ替えて、対角でない成分は符号だけ変えて

$$\begin{pmatrix} 4 & -2 \\ -3 & 1 \end{pmatrix}$$
を考える. 次に、これを行列式 $|A|=4-6=-2$ で

割って
$$A^{-1} = \begin{pmatrix} -2 & 1 \\ \frac{3}{2} & -\frac{1}{2} \end{pmatrix}$$
 とする.

行基本変形で求めるには

右側に単位行列を付けた次のような行列を考える

$$\begin{pmatrix}
1 & 2 & | & 1 & 0 \\
3 & 4 & | & 0 & 1
\end{pmatrix}$$

1行目は左端が1になっている。2行目から1行目の3倍を引く

$$\begin{pmatrix}
1 & 2 & | & 1 & 0 \\
0 & -2 & | & -3 & 1
\end{pmatrix}$$

2行目の0でない左端をIにするために、2行目を-2で割る

$$\begin{pmatrix}
1 & 2 & | & 1 & 0 \\
0 & 1 & | & \frac{3}{2} & -\frac{1}{2}
\end{pmatrix}$$

1行目から2行目の2倍を引いて、左側の行列を単位行列にする

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & -2 & 1 \\ 0 & 1 & \frac{3}{2} & -\frac{1}{2} \end{pmatrix}$$

(2)

行基本変形によって
$$\begin{pmatrix} 0 & I & 2 \\ I & I & I \\ 2 & I & I \end{pmatrix}$$
 の逆行列を求めるには、はじ

めに右側に単位行列を付けた次のような行列を考える

$$\begin{pmatrix}
0 & 1 & 2 & 1 & 0 & 0 \\
1 & 1 & 1 & 0 & 1 & 0 \\
2 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}$$

1行目と2行目を入れ替える

$$\begin{pmatrix}
1 & 1 & 1 & 0 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 2 & 1 & 0 & 0 \\
2 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}$$

3行目から1行目の2倍を引く

$$\begin{pmatrix}
1 & 1 & 1 & 0 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 2 & 1 & 0 & 0 \\
0 & -1 & -1 & 0 & -2 & 1
\end{pmatrix}$$

1行目から2行目を引く、3行目に2行目を足す

列を付けた次のような行列を考えて

$$\begin{pmatrix}
a & b & c & 1 & 0 & 0 \\
d & e & f & 0 & 1 & 0 \\
g & h & i & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}$$

行基本変形によってAを単位行列にできたときの右側の行列が逆行列(Aを単位行列にできないとき(|A|=0のとき)は逆行列は存在しない)

$$\begin{pmatrix}
1 & 0 & -1 & -1 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 2 & 1 & 0 & 0 \\
0 & 0 & 1 & 1 & -2 & 1
\end{pmatrix}$$

1行目に3行目を足す、2行目から3行目の2倍を引く

$$\begin{cases} 1 & 0 & 0 & 0 & -1 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & -1 & 4 & -2 \\ 0 & 0 & 1 & 1 & -2 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\text{\sharp \supset T, } \begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 1 \end{pmatrix}^{-1} = \begin{pmatrix} 0 & -1 & 1 \\ -1 & 4 & -2 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix}$$

※正しい番号をクリックしてください.

平成18年度技術士第一次試験問題[共通問題] 【数学】Ⅲ-16

2次の正方行列が $A\begin{pmatrix}I\\0\end{pmatrix}=\begin{pmatrix}-2\\I\end{pmatrix}$, $A\begin{pmatrix}I\\I\end{pmatrix}=\begin{pmatrix}I\\3\end{pmatrix}$ を満たすと

き, 行列 A は次のどれか.

平成18年度技術士第一次試験問題[共通問題] 【数学】Ⅲ-17

行列 $A = \begin{pmatrix} 0 & I \\ 5 & I \end{pmatrix}$ について、AB + 2B = E を満たす行列 B は

次のどれか. ただし、 E は単位行列とする.

$$\begin{array}{c|cccc}
\hline
1 & \begin{pmatrix} 1 & 5 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} & \boxed{2} & \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -5 & 3 \end{pmatrix} & \boxed{3} & \begin{pmatrix} 3 & -1 \\ -5 & 2 \end{pmatrix} \\
\hline
4 & \begin{pmatrix} 3 & -5 \\ -1 & 2 \end{pmatrix} & \boxed{5} & \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 1 & 5 \end{pmatrix}$$